

馬場ひでゆきの活動日誌

No.93

総選挙では重大な争点にはされなかったが

3つの大事な論点！

総選挙のあとも問われ続けるはず



活の破綻を招きます。防衛費の増額のために国債を増発するとしたら、利払い額が増えます。日本の財政がおかしいと思われるなら、国債の金利は上がり、さらに財政悪化になります。医療福祉などの生活予算にしわ寄せがくること間違いありません。他方、財源を増税で賄おうとしたら、それは直接我々の懐を苦しめます。どちらにしても、国民の体力をさらに弱くさせ、生活が困窮します。

高市首相は、責任ある積極財政を提唱して国内への大規模な投資を公約にしていますが、人あつてこそその経済です。労働力が弱まってしまえば、経済が立ち行かなくなりまます。今は国民に十分な体力をつけさせる政策に専念するべきです。

柏崎刈羽原発再稼働

原発再稼働の問題は、新潟県民にとつては最大の関心事です。候補者にはもつともつと議論をしてほしかつたです。

ところで、立憲民主党と公明

党が結成した「中道改革連合」は、基本政策に

「将来的に原発に依存し

ない社会を目指しつつ、

安全性が確実に確認され、

実効性のある避難計画が

あり、地元の合意が得ら

れた原発の再稼働」と条

件付きで再稼働を容認す

る姿勢を明らかにしました。綱領で「原発ゼロ」を明記していた立憲民主党の政策に比較して後退したことは明らかです。しかも、重要な基本政策であるにも関わらず、党員を巻き込んだ議論がまったくされていませんでした。立憲の政策に期待して党員になった人たちに失礼です。選挙目的の野合と言われでも仕方ないでしょう。

民主主義の危機

高市首相がNHKの党首討論会を欠席したのにはびっくりしました。選挙は、政策を主張し、議論をしながら、有権者の支持を獲得するものです。有権者に対する責任放棄でしかなく、有権者から審判を受ける資格はありません。

高市首相は、かつて総務大臣のとき、放送局が政治的な公平性を欠く放送を繰り返した場合に、電波停止を命じることがありうることを回答して大問題になったことがあります。言論の自由の重要性がわかってい

最後に

高市首相は、上越市で開催された演説会で、憲法9条に自衛隊を明記するための憲法改正に言及しました。他党との論戦を軽視し、他国の批判に耳を傾けず、人気を背景に突っ走る姿勢は危険です。

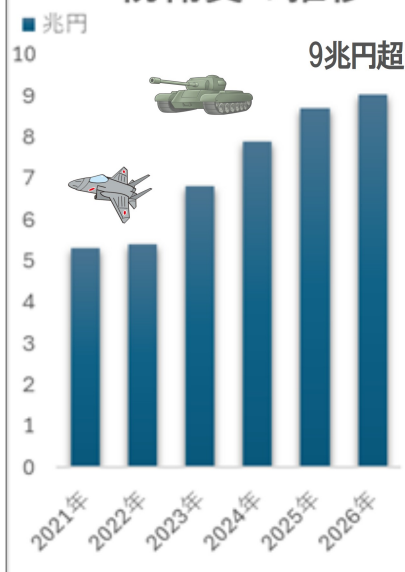
際限ない防衛費の拡大

2月4日、頸城区の希望館で開催された日本共産党の北陸信越ブロック比例代表候補藤野やすふみさんの演説会に参加しました、この総選挙で議論してほしかつた三つの論点について、応援演説としてお話ししました。

高市首相は、存立危機事態の事例として台湾有事を挙げました。中国からの内政干渉だとの批判に対し、未だその発言を撤回していません。東アジアの緊張関係を煽っています。米国から要求されたGDP2%の防衛費増額は、昨年12月の補正予算で実現してしまいました。いつでもどこでも戦争できるような準備ができています。

防衛費の際限ない膨張は、戦争への危険だけでなく、国民生

防衛費の推移



牧区

昨年よりも早く積もった雪に 住民不安隠せず

2月2日、橋爪法一上越市議とともに牧区に行き積雪の状況を確認してきました。

牧区の棚田新田は、牧区でもっとも積雪量の多いところですが、普段は道路除雪作業の目安のために設置されていた道路脇のポールが雪の中に埋もれてしまっていました（左の写真）。



牧区の高尾では、太田正孝さんにお会いすることができました（右下の写真）。89歳になりますが、今も、息子さんとともに高尾の山間地で農業に従事されています。

この日は、小型ブルドーザーで自宅や倉庫周りを除雪されていました。「今年はもう4回も除雪したよ」と言っていました。太田さんを激励するはずだったのですが、太田さんから「県議会頑張ってるね」と逆に励まされてしまいました。

を拠点にして修練を積んでいるということです。3月には地元を盛り上げようと、スキー場でのイベントを企画。地元愛がステキですね。この企画力と実行力、見習いたいと思いました。

「最近の若者は？」

2月4日、浦川原の知人宅に立ち寄ったところ、一人の青年の話題になりました。

竹内蓮之介さん、19歳。フリーライドスキーのジュニアカテゴリで、2024-25年シーズンのジャパンシリーズでシリーズチャンピオンに輝きました（フリーライドスキーとは、整備されていない自然のままの地形を滑り、そのテクニックやスタイルを競う種目です）。

彼の凄いのは、優秀な選手が県外や国外に行く中、自分でスポンサーを探し、地元のキュービッドバレー

CV DJ NIGHT 2026

3月7日(土)18時00分OPEN

！キュービッドバレースキー場

〒942-0534 新潟県上越市板倉区江田山5-2-3

TICKET

当日販売 前売販売

一般 ¥2500 一般 ¥3000

20歳以下 ¥2500 20歳以下 ¥2000

小学生以下無料

SCHEDULE

18時00分～CV DJ NIGHT 2026 OPEN

18時30分～DJ 高田文化協会 (DJ バックアップ)

19時30分～お楽しみ大会開始

20時00分 CLOSE

主催: CV DJ NIGHT 実行委員会

協賛: DTS

板倉区

平地は雨だが、山あいには雪 空き家の除雪対策が課題

2月6日は、板倉区を回りました。事務所を出発するときには、街なかに小雨が降っていました。が、板倉の中心である針地区から久々野方面に上るにつれて次第に雪になりました。久々野に着くと、雪が深々と降っていました（久々野の積雪は174cm）。久々野から猿供養寺を抜けて筒方に向かいました。途中にあつ



た空き家では大量の屋根雪が落下し道路に出ていました（左上の写真）。今年は、空き家が雪の重みで倒壊したという事例が何件も報告されています。空き家の除雪も困難な課題ですね。

高田文化協会・新年会



マルさんの演技久しぶりに見ました。カッコいいですね。

1月31日、高田文化協会の新年会があり、出席しました。

高田文化協会は、昭和38年に設立された団体で、上越地域の文化の灯を灯し続けることを目標に活動してきました。

乾杯に先立ち、地元で劇団活動をしているマルまるやまさんが一人芝居を披露。人間臭い演劇も、協会は受け入れているんだとびつくり。

そういえば、協会の会誌は、昨年400号に到達しましたが、その記念号の特集は、「街の灯を受け継ぐ者より」と題した若手世代の座談会でした。文化の担い手を若い世代に広げようとする意欲を感じました。

伝統を大事にしつつ、新たな時代に柔軟に対応しようとする試みに敬意を表します。変わることを怖れないことが大事です。

発行責任者：馬場ひでゆき事務所

住所 新潟県上越市本町3丁目3番3号

ダイヤパレス高田武番館2階

電話 025-546-7110

ファックス 025-546-7666

メール kengi-babahideyuki@wind.ocn.ne.jp